



なんぶ

議会だより

第47号

平成28年6月議会

発行 平成28年7月29日



芝生でカケッコ
たのしいな
すみれこども園

- 6月定例議会 2
- 一般質問ダイジェスト 4
- 行政調査報告 8
- 第3回臨時議会 9
- 地元企業の優先発注に関する意見書 .. 9
- 保育園シリーズNo.410
すみれこども園

他議案の結果

全員一致で可決

南部町いじめ問題調査委員会設置条例の制定について
この条例は、「いじめ防止対策推進法」に規定する調査を行うための組織として、法に規定する重大事態への対処と防止に資するため、南部町教育委員会に調査委員会を設置する。

質問 現在、教育委員会、各学校ではいじめについて、対策を講じているのか。

回答 教育委員会では、南部町いじめ防止基本方針を設定し、各学校ではこれを基に方針を設置し教職員に周知し、実施している。

公の施設の指定管理者の指定について

町内集会所、公園など25施設の指定管理期間の満了に伴い、地域代表者に管理の継続を指定する。

質問 公園の遊具について、老朽化による撤去費用の補助はあるが、新設に対する補助の考えはないか。

回答 現状では新設に対する補助はない。現状でご理解いただきたい。

陳情・請願審査結果

案件名	提出者(敬称略)	可否	可否の理由
T P P協定を国会で批准しないことを求める陳情	農民運動鳥取県連合会 代表者 今井 潔	不採択	(賛成) 町の基幹産業である農業に大きく影響するものだ。 (反対) 今国会でも継続審査である。
精神障がい者の交通運賃割引制度の適用を求める意見書提出に関する陳情書	鳥取県精神障害者 家族会連合会 会長 濱崎 智熙	採 択	国へ意見書を提出
「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書	鳥取県労働組合連合会 会長 田中 暁	採 択	国へ意見書を提出
地元企業の優先発注に関する陳情書	南部町商工会 会長 梅原 克子	採 択	町長へ意見書を提出 (意見書の内容はP9に掲載)

発議案

6月議会の発議は5件(2件は議員発議、3件は陳情採択)であった。

「平和安全保障関連法」の廃止を求める意見書

賛成少数 不採択
提出者 真壁 容子
賛成者 亀尾 共三
賛成者 植田 均

(反対意見) 自衛権を行使するにあたり、現在の安全保障には不備がある。その部分を補完する法律であり、廃止は出来ない。(賛成意見) 軍事力を持たない憲法を制定したことは、日本国民、アメリカ政府が望んだことだった。しかしアメリカ政府の方針が変わり、「限定的再軍備」を日本政府に求めるようになった。日本国憲法に矛盾していることから、改憲の最大の動機となった。「平和安全法制」は政府が憲法を破壊するものである。

会 計 名	議 員 名(議席番号順)	白川	三鴨	米澤	板井	植田	景山	杉谷	青砥	細田	石上	井田	亀尾	真壁
「平和安全保障関連法」の廃止を求める意見書採決結果		×	×	○	×	○	×	×	×	×	欠	×	欠	○

保育士等の処遇改善のさらなる充実を求める意見書

全員一致採択 提出者 議会運営副委員長

議会最終日の発議案が採択され衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣、少子化担当大臣宛に意見書を提出した。

6月定例議会報告

平成28年6月定例議会が、13日から20日までの会期で開催され、平成28年度の一般会計補正予算と条例の制定ほか2議案と5発議が審議され、1発議が不採択された以外はすべて可決されました。

一般会計補正予算 賛成多数で可決

歳入歳出予算の総額に31,110千円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ7,058,041千円とする。

地方創生推進交付金事業
生涯活躍のまち推進プロジェクト
STAGE 1・・・16,333千円

南部町版CCRCの実現に向けた、情報発信と住民と移住者の交流場の整備等の取組み。

質問 今後の予定と計画実現に向けた取組みは、どのようになっているか。

回答 この事業は、5年間で計画を積み重ねることとなる、1年目の事業である。今後さらに深化していく。

法勝寺児童館事業・・・562千円増額

4月から開館をした法勝寺児童館の来館者が当初の予定を上回る来館者があり、指導員が不足しているため、勤務時間を増やす必要が生じた。また、応募者が有資格者であった。

質問 開館2か月間の来館者の現状について

(単位 人)				
月	小学以下	中学	高校以上	合 計
4	560	78	226	864
5	907	160	341	1,408

合計2,272人の利用で、6月末で4,000人を過ぎる。

(賛成意見) 地方創生推進交付金は、南部町版CCRCを特色ある先行事例として認められた証である。今後5年計画で地域の特色を活かした総合戦略が深化することになる。現在、少子高齢化、人口減少が進む中で、地域の活性化が期待できる事業である。

(反対意見) 生涯活躍のまち推進プロジェクト事業として、南部町版CCRCが計画されている。移住者の計画はアクティブシニアを中心としている。予算は5年間で4億円を超えている。その半額は町の一般財源である。このような計画をこのまま進めるか、改めて全町民的議論をすべきだ。

(地方創生推進交付金とは)
地方創生総合戦略に位置づけられた、地方公共団体の自主的・主体的な取組みで、先導的なものを支援する。(国から1/2補助、1/4普通交付税、1/4特別交付税で予算化される。)

コミュニティ助成事業

・・・4,600千円

宝くじの社会貢献事業として、コミュニティ活動に対しての助成金。
会見小松谷盆踊り保存会・・・2,500千円
清水川区……………2,100千円

質問 補助対象になった現状について

回答 保存会へは老朽化したやぐらの新調。
清水川区では、古代米を耕作し地域間交流促進でテント等備品を購入する。



小松谷盆踊り

清水井尻米田植え

会 計 名	議 員 名(議席番号順)	白川	三鴨	米澤	板井	植田	景山	杉谷	青砥	細田	石上	井田	亀尾	真壁
平成28年度一般会計補正予算採決結果		○	○	○	○	×	○	○	○	○	欠	○	×	×



【質問の通告】
一般質問は、議題と関係なく行政全般にわたる議員主導による政策論議で、通告制で行っている。

【一般質問の時間】
定例議会において行われ、南部町は議員からの質問時間は30分と定められている。
町民皆様の声を行政に問います。

一般質問 行政に問う！

あなたの声を

	議員名	発言時間		質問事項
1	杉谷早苗	30	1	南部町の教育について
2	景山 浩	20	1	子どもの貧困対策について
3	三嶋義文	20	1	町長職在任中の成果と引き継ぎについて
			2	なんぶ創生総合戦略について
4	植田 均	30	1	農業振興の具体策を問う
			2	南部町版CCRCを問う
			3	TPP撤退が南部町を守る道
5	亀尾共三	30	1	町内の子どもの貧困率の実態を問う
			2	国民健康保険税の負担軽減を求める
6	真壁容子	30	1	町出資電力会社を問う
			2	地域振興区制度を問う
7	板井 隆	30	1	なんぶ里山デザイン機構の役割と運営について
			2	新電力会社(南部だんだんエナジー株式会社)の設立について
			3	地方公共交通網形成計画について

南部町の教育

杉谷早苗議員

Q

今年度の目指す取り組みは

A

未来を生きる力をつけるためへ

教育長



わが町の教育は、「前へ…、前へ…、ひたすら前へ…、南部町の教育 一歩前へ…」の精神で歩まれた。

教育長

◎今年度の目指す取り組みは、

1点目 協同学習による授業づくりとまち未来科の実践。

2点目 チーム学校の体制を充実強化。

3点目 地域・家庭・保小中との協働体制づくり(コミュニケーション・スクール、土曜開校)。

◎まち未来科で育みたい力とは、

①地域愛着力

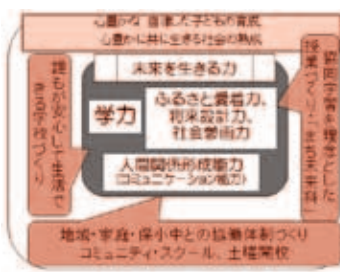
②将来設計力

③社会参画力

④人間関係調整力

そして、まち未来科の具体的な学習時間は、小学校低学年では、生活科の一部を使い、小学校中・高学年及び中学校では総合的な学習の時間も問う。

その中で、受けられる。そこで、義務教育の今年度目指すところを伺い、まち未来科についても問う。



(南部町の教育図)

子どもの貧困対策

景山 浩議員

Q

脱却のための積極的な対策を

A

まずは貧困の実態把握を進めたい

町長



景山

子どもの貧困問題がその深刻度を増してきており、国も法律や大綱を制定した。

この問題は子ども

のいる家庭の貧困問題であり、原因としては非正規雇用による所得の格差、ひとり親世帯の増加などが考えられる。

更に世代をまたぐ貧困の連鎖問題もあり、貧困脱却のための行政の積極的な対策を求める。

町長

貧困率とは順番が真ん中の所得の人の半分の割合を言い、子どもの貧困率とは18歳未満の貧困割合である。これが16・3%で6人に一人、300万人が貧困状態と言われている。

現在、貧困状態にある子どもの支援は福祉事務所、教育委員会、健康福祉課などが行っている。

だが連携して対応しているが、更にきめ細かな対応が必要と認識している。

そのためには実態把握が必要であり、南部町でもまず、国の定めた指標に沿って子どもの貧困の実態把握を進めていきたいと考えている。

町の将来像

三嶋義文議員

Q

次期町長に引き継ぐことは

A

種をまいてきたことの実現を

町長



三嶋

4月27日に町長は次期町長には立候補せず今

期限りで勇退の表明をされたが、合併から3期12年の在職中の主な成果と次期町

長に重点的に取り組んでほしい引き継ぎ事項はどんなことを考えているか。

今まで各事業を取り組む段階で、町民の皆さんや関係者の皆さんに十分な説明をして欲しかったと感じているが。

成果は自らが語ることでなく、町民の皆さんに評価されること

と思うが、印象に残っている取り組みは7つの地域振興協議会を発足させ地域で支える仕組みづくりが出来たこと。

思いが先行して説明も不十分だったのか、反対される方もあつて難儀な取り組みだったが、多くの皆さんにご理解をいただき全地域で設立されたことは特に印象に残っている。

町の将来像を夢みる取り組みとして、①南部町版CCRCの取り組み。②学生連携機構との協定で学生に期待。③青年海外協力協会と契約し帰国した隊員の受け入れ。④統合医療のメッカとして健康

長寿の町の実現。⑤環境省の里地里山の指定効果。こうした新しい種をまいているので、次期町長にはこれを大きく育てて、南部町が実現する将来の夢を引き継ぎたい。

全ての事業で、もっと理解をして頂きたいながら事業を進めればよかったとは思いますが、一定の時期には決断しなければなら

ないと思う。



母塚山から見た南部町

Q 移住に偏った施策は見直しを

A 地域振興協議会の要望でもある

町長



植田 政府は、地方が人口急減によって自治体が消滅しかねないとして、地方創生を打ち出している。そのために、政府は交付金を出す

が、政府の眼鏡にかなう形で、交付金を出すようなやり方は、地方創生の地方自治、住民本位から問題である。このような立場から以下の質問をする。

② なんぶ創生総合計画の中になんぶ町版CCRCに大きな予算を充てている。本来、町民のくらし向上と地域産業、農業振興のために使うべきではないか。予算の見直しを求める。

町長

① 平成27年に鳥取県のお世話で、南部町の地域特性を踏まえて南部町版のモデルプランが策定された。計画は、国の示した部分と、100人委員会の中で皆さんの発想からでたものだ。

委託先の(株)コミュニティネットは、県が作成したモデルプランの製作者であり、南部町の地域特性をみてもらっている

とから選定した。② 議員の意見は間違いないと思う。孔子の言われるように「近き者喜び、遠き者来たる」が理想だと思う。しかし、近き者としての地域振興協議会の中から、こういう人に来てもらいたいとの要望があるの

で、ご理解とご協力をお願いする。



町の特産"柿と米"

亀尾 1998年の労働者派遣法の改悪で、非正規労働者が急増した。1995年は、正規労働者は380万人、非正規労働者は約1000万人だった。しかし、2015年には正規労働者が3300万人、非正規労働者は2000万人となった。非正規雇用の増大と低賃金が、即貧困につながっている。非正規雇用の中で特に、男性の25才から54才では、2002年に158万人が2015年では228万人と1.44倍になっている

る。この世代は、子育て中の世代で、所得が低いことによる子どもへの影響が懸念され、対策を求める立場から問う。① 子供の貧困率を問う。② 貧困世帯への対策と計画を問う。③ 貧困世帯への支援の予算を、増やすことを求める。④ 2年ごとの実態調査を求める。⑤ 就学援助条例の制定を求める。

町長

平成26年7月厚労省が発表した子どもの貧困率は、16.3%で、過去最悪を更新した。中でも深刻なのは、母子家庭など一人親世帯の子どもだ。早急な対策のため、子ども貧困対策法が施

行された。町が県や関係部署と連携し、個々の家庭の要望に応じた個別の対応を講じている。① 平均的所得の半分未満という基準の、相対的貧困状態を町としては実態把握はできない。② 県が行う子どもの貧困対策推進計画を参考に、実態把握をしたい。③ 経済的支援の拡充、強化をはかりたいと考えている。④ 県が子どもの貧困対策に係る計画を策定するが、町にはそのような義務はないと認識している。⑤ 今後指標を用いた町内の子どもの貧困の状態を、把握することが大事であると思っている。

地域振興区制度

真壁容子議員

Q 町の仕事の下請になっているのではない

A 町と共同する組織と思っている

町長



真壁 昨年の「住民の声をきく会」では地域振興協議会の活動に対しての意見が出た。協議会の対応に公正、公平を求める声や公金の使い方、行事が多く、役員の手が足りないという声だ。

町長

交付金の使い方

は、これまでややもすれば個人の生きがいづくりや仲間づくりが中心であった公民館活動の課題ともなっていた取り組みであり、大きな違いだと考えている。自主的にやっているから特産品も出てきている。協議会は町の下請けと受け止めていて人が案外多いので話しておきたいが、町と共同する組織だと思っているので、ご理解いただきたい。

板井

共産党議員



町長

① 募集は、ハローワークやリクルートを通じて募集をかけた。結果、県内外から8人の応募があり、履歴書、職務経歴書及び作文試験と面接によって公正、公平に決定された。

② CCRC関連事業では、基本計画査定事業、賀野地区にサテライト拠点事業、生涯活躍の町づくり事業等を担っていた

③ 南部町版CCRCは全国からも注目の事業である。従来の地域住民のまちづくりに、生涯活躍のまちのスキームを活用し、地域の方と移住者が一緒に住んで地域を盛り上げる構想を官民一体となって全力で取り組む。

④ 県が行う子どもの貧困対策推進計画を参考に、実態把握をしたい。

真壁

政府は、地方が人口急減によって自治体が消滅しかねないとして、地方創生を打ち出している。そのために、政府は交付金を出す

が、政府の眼鏡にかなう形で、交付金を出すようなやり方は、地方創生の地方自治、住民本位から問題である。このような立場から以下の質問をする。

とから選定した。② 議員の意見は間違いないと思う。孔子の言われるように「近き者喜び、遠き者来たる」が理想だと思う。しかし、近き者としての地域振興協議会の中から、こういう人に来てもらいたいとの要望があるの

で、ご理解とご協力をお願いする。

この世代は、子育て中の世代で、所得が低いことによる子どもへの影響が懸念され、対策を求める立場から問う。① 子供の貧困率を問う。② 貧困世帯への対策と計画を問う。③ 貧困世帯への支援の予算を、増やすことを求める。④ 2年ごとの実態調査を求める。⑤ 就学援助条例の制定を求める。

行された。町が県や関係部署と連携し、個々の家庭の要望に応じた個別の対応を講じている。① 平均的所得の半分未満という基準の、相対的貧困状態を町としては実態把握はできない。② 県が行う子どもの貧困対策推進計画を参考に、実態把握をしたい。

第3回臨時議会

5月18日に平成28年第3回臨時議会が開催され、7件の専決処分と監査委員、副町長の選任について審議され、いずれも可決されました。

(専決処分とは)
議会が決議すべき事件又は決定すべき事件に関して、議会を開催する時間がない等、法定の要件に該当する場合、首長が処分するもの。今回の場合、年度末での処理が必要あり、専決された。但し、専決処分後、最初の議会で承認を得る必要がある。

専決処分の承認・・・
税条例の一部改正について
地方税法の一部改正が平成28年4月1日から施行されたことに伴い、専決処分を行った。主なものは法人税率の改正と法改正に伴う条例整備であった。

(賛成) 自治体の税制格差は、国が責任をもつて財源を地方に配分すべきだ。
(反対意見) これは、地方税法の改正に伴う条例の改正で、自治体が行うべき案件ではない。

会 計 名	議 員 名(議席番号順)	白川	三鴨	米澤	板井	植田	景山	杉谷	青砥	細田	石上	井田	亀尾	真壁
専決処分の承認について結果		○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	欠

専決処分の承認・・・平成27年度一般会計補正予算
歳入歳出予算の総額に141,719千円を追加し、歳入歳出の総額を7,448,450千円とする。

27年度財政調整基金積立て
1億5,000万円となる。

(賛成) 財政力もまだ弱い。住民のニーズに即した結果である。
(反対意見) 予算の減額を十分に精査する必要がある。住民の要望にこたえていないか疑問である。

会 計 名	議 員 名(議席番号順)	白川	三鴨	米澤	板井	植田	景山	杉谷	青砥	細田	石上	井田	亀尾	真壁
専決処分の承認について結果		○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	欠

議員全員一致で意見書を提出しました。

地元企業の優先発注に関する意見書

わが国経済は、アベノミクス効果による企業業績や景況の改善がみられるものの、地域の中小零細企業は依然、厳しい経営が続いている。また、特に公共事業の減少に伴い、建設業者の経営状況は大変不安定であり地域経済に大きく影響を及ぼしている。
しかしながら地元企業は、地域に密着した経済活動により、雇用の維持創出や地域コミュニティーの形成など地域活性化に努め、又、地元や地域の力を結集し、祭りやイベント、ボランティア活動の担い手として地域を守り、貢献している大きな存在である。地元企業の衰退は地域の衰退に繋がる大きな要因である。
地元企業自らが経営意欲を喚起し、創意工夫を重ね、持てる力を発揮するなど自助努力が必要なことは言うまでもないが、現状を鑑み、地元企業の維持と育成のため、右記の事項について強く要望する。

- 記
1. 町発注事業について、地元企業への優先発注。
 2. 町外業者は受注した場合、町内下請業者を使う旨の徹底。
 3. 町および町関連施設における物品購入の地元企業、店舗への優先発注。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出する。

平成28年6月20日

【提出先】 鳥取県西伯郡南部町議会
南部町長

行政調査報告

地域の実情に応じた自治体行政を推進するため、4月25日から3日間の日程で、南部町議会議員で行政調査を行いました。

香川県善通寺市 (人口 33,000人)

善通寺市の「四国こどもとおとなの医療センター」においては、病院全体をアートとしています。実際、病院の外壁自体がキャンバスとなっており、患者にやさしく、人の治癒力を高める工夫がされています。また、患者、家族、医療関係者すべての方のために、環境をよりよくして居心地の良いものにしようとしていました。さらに、ワークショップで患者と医療関係者の垣根をはらい、コミュニケーションにより、一緒になってアーティストとなり、「目にみえない想い」を「目にみえる形」、具体的には、病院内壁へ描かれた絵、一緒になって作ったカラクリ時計、絵画の展示、木漏れ日をイメージした照明など、さまざまな人の治癒力を高める工夫がされていました。



病院の外景

岡山県真庭市 (人口 46,000人)
真庭市においては、豊富な森林資源の活用や廃棄物の処理に費用をかけていたのを、逆にエネルギーを生産するような工夫があります。木材のセルロースからエタノールを発生させて、燃料としていました。また、チップ・樹皮からバイオマス発電、おがくずからの肥料の製造等、考える多様な可能性を模索しておられました。
南部町におけるエネルギー発生等の考慮すべき指針となるものがある視察でありました。



愛媛県今治市 (人口 196,000人)

今治商工会議所においては、「ごつつおーら」プロジェクトとして、スイーツ・コンテストを開催するなど、地域の活力を上手にひきだす工夫がなされています。補助金を効果的に活用し、東京でのスイーツ・コンテスト開発商品の試食、販売や、「しまなみ街道」つながりで尾道市ともスイーツ対決を開催するなど、ユニークな「まちおこし」に活動しておられました。



今治市商工会議所



(お詫びと訂正)
5月発行(第46号)の議会だよりの内容で、子育て支援(P3)の特別医療費助成事業で「高校生までの医療費無償化」と記していましたが、初診料等負担金もあり、医療費無償は全てではありませんでした。お詫びし、訂正いたします。

愛媛県鬼北町 (人口 12,000人)

鬼北町(きほくちょう)においては、人口減少や高齢化率が約40%という中、高齢者医療、UIJターン、お試し移住などの工夫がされています。
集落の平均年齢が79才というような集落もあり、危機感もあります。
少子高齢化は、日本全体、そして、南部町の課題でもあります。
南部町としても、真剣に取り組みする必要があります。



鬼北町役場

保護者の声

なんぶの宝

かがやく園児

私の思い



すみれこども園
保護者会副会長
吉畑幸子

子どもが
入園して早
くも3年と
いう月日が

経ちました。

子どもも初めての大人数の保育園で最初は戸惑っている姿を見て親としても心配はしていましたが、数カ月もすると皆と仲良く遊んでいる姿を見たり、先生方から園での様子を教えてもらっています。今では以前のような心配もなくなり安心して働くことができています。

去年から、「すみれこども園」という広くなった新園舎で、子どもたちののびのびとしている姿を見るととても嬉しく思います。

毎年、園では色々な行事をしています、行事の一つに苗植えと収穫祭があります。子どもたちは自分たちで植えて育てた作物を収穫し、食べるという喜びが味わえるのは、先生方はじめ地域の方・保護者の方々が協力をしてくれたからだと思ひ感謝しています。

町への要望としては、今、病児・病後児保育を実施されていて私たち親としては大変助かっておりますがもう少し預かっていただける人数を確保していただきたいです。

今後、住みやすい南部町で子育てをしていき、子どもたちがいきいきしながら成長していく姿を見守っていききたいと思ひます。



すみれこども園
保護者会会長
橋本真介

こども園に通う子どもたちの笑顔を見て、

私自身いつ

も元気をもらっています。子どもたちの豊かな感情表現や屈託のない笑顔は本当にこれからも大切にしたいものです。しかし、親子ともに笑顔でばかりいられないのが「子育て」。私自身も子どもとの関わりが思うようにはいかず落ち込むことも多いものです。子どもたちの寝顔を見ながら「ごめんよ」と反省し、翌日仕事の帰りにスパーでお菓子を買って帰ることもしばしば。しかし、子どもたちの

私の思い

何気ない言葉や仕草に喜びを感じて「よし！頑張ろう！」と気持ちを直しながら日々頑張る、子どもたちと一緒に成長させてもらっています。子どもたちが与えてくれるものは、決して目には見えませんが、かえのいないもの、そして、それは形として残すのは難しいものだと思います。だから、私は子どもと積極的に関わることで、それをできるだけ多く思い出として私の心の中で残しておきたいと思っています。これからも、そのかけがえのないものを少しずつでも残していけるように、子どもと向かい合っていければと思います。

沿革



すみれ保育園は、戦後、生活もやや安定した当時、法勝寺村に保育所開設運動が起こり、村当局もその必要性を認め、昭和30年3月、県の認可を得て同年4月に西伯町保育所として開設した。昭和39年12月には園名をすみれ保育園と改名、昭和48年頃から第2次ベビーブーム期を迎え、入所希望者の増加に伴い、それに対応するため、昭和51年、法勝寺576番地に移転新築した。その後、女性の職場進出が進み、子育て支援が緊急の課題となった。このため、保護者が希望すれば就学前のこどもたちみんなが入所できる保育園と幼稚園の機能を併せ持つ「すみれこども園」として、平成28年4月、現在地に移転新築し現在に至る。

あしがき



◆6月定例議会において「南部町いじめ問題調査委員会設置条例」が可決されました。この条例の背景は2011年に起きた大津市の中学2年男子の自殺問題をきっかけに、「いじめ防止対策推進法」が制定され、町内でも教育委員会をはじめ、小・中学校5校にそれぞれ「いじめ防止基本方針」が策定されています。この度の条例は、今後における重大事態が発生した場合に備えて設置するものです。県内では「西部町村いじめ問題対策協議会」も発足いたしました。

(杉谷)

広報調査特別委員会

- | | |
|-------|-------|
| 委員長 | 杉谷 早苗 |
| 副委員長 | 板井 隆 |
| 委員 | 秦 伊知郎 |
| 井田 章雄 | |
| 植田 均 | |
| 米澤 陸雄 | |
| 三鴨 義文 | |
| 白川 立真 | |